

# トップは成人1人あたりビールジョッキで年間90杯！奈良・鹿児島・埼玉がワースト3！

## 「ビールをよく飲む都道府県ランキング」公開

### インフォグラフィックで見る全国のビール消費量

■公開日:2013年7月9日(火) ■URL: <http://r.gnavi.co.jp/sp/beer/infographic/>

株式会社ぐるなび(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:久保証一郎)は、「ビールをよく飲む都道府県ランキング」のインフォグラフィックを公開しました。



【トップ5ランキング】		
順位	都道府県	成人1人あたりの消費量(L)
1位	東京	45.2
2位	大阪	32.4
3位	京都	30.0
4位	高知	29.6
5位	新潟	29.3

【ワースト5ランキング】		
順位	都道府県	成人1人あたりの消費量(L)
47位	奈良	17.8
46位	鹿児島	18.2
45位	埼玉	18.8
44位	栃木	19.1
43位	滋賀	19.3

各都道府県の年間ビール消費量を成人1人あたりの消費量に換算し都道府県別ランキングをまとめました。1位は「東京」45.2L、年間でビールジョッキ約90杯分、1週間にビールジョッキ2杯弱飲む計算です。2位「大阪」32.4L、3位「京都」30.0Lという結果となり、大都市での消費が目立ちました。

一方、消費量が少ないのは、47位「奈良」17.8L、46位「鹿児島」18.2L、45位「埼玉」18.8Lという結果で、焼酎の消費量が全国1位の鹿児島は、飲むならビールよりも焼酎という認識が強いようです。ワースト1、3位の奈良、埼玉は、いずれも隣接する大都市で消費している傾向があるほか、奈良は新し物好きでミーハーな県民性であるがゆえに、飲み飽きたビールよりもフルーツカクテルやスパークリングワインなど流行のお酒を好むようです。また、埼玉は人口当たりの飲食店数が全国45位と最低水準で、飲みに行きたくても店が少ないという現状があり、ビールに限らずアルコールの消費量は少なめです。それに加えて、教育費1位、習い事費1位、旅行費2位、スポーツの年間行動者率2位と、飲酒以外にお金を使う埼玉県民の特徴がこの結果につながっていると思われます。

(※) 出典: 国税庁/平成23年度財務統計

盛夏に向けて需要が高まるビールですが、ぐるなびでは今月からビールが探せるお店特集を開始しています。

◆ビール・ビアガーデン特集2013

URL: <http://r.gnavi.co.jp/sp/beer/>

＜本件に関するお問い合わせ＞  
株式会社ぐるなび コミュニケーション部門 広報グループ  
TEL: 03-3500-9700 MAIL: pr@gnavi.co.jp